

**2012年3月22日(木)**

**14:00~17:00**

**@奈良女子大学**

**第一体育館~E107**

14:00に第一体育館にご集合ください。着替えなどは不要ですが、上履きをご用意ください。その後、E107に移動します。



申し込みは不要です  
どなたでもご来聴下さい

## テーマ：空間を移動する身体

### ～ナビゲーション・スキルと認知過程

われわれが空間移動するとき、どのような情報を、いかにして取り入れ、処理しているのだろうか？またその時にわれわれはどのような身体動作を行っているのだろうか？

今回は、認知心理学者であり、オリエンテーリング競技の第一人者でもある村越真氏をお招きし、人が空間を移動する際に行っている身体的スキルと、その背後にある複雑な認知過程について話してもらいます。

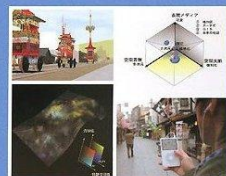
また、「ワークショップ」ということで、簡単なナビゲーションの実技プログラムも用意しました。人が当たり前のように行っているさまざまな空間移動がいかに奥深いものなのか、頭と体で感じてもらえると思います。

平成23年度文学部長裁量経費によるプロジェクト  
**身体文化学への招待**  
第7回

### GISと空間認知

進化する地図の科学

村越真・若林芳樹 編著



古今書院

問い合わせ先：鈴木康史(奈良女子大学文学部) [kosuzu@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:kosuzu@cc.nara-wu.ac.jp)

## 村越氏からの講義概要

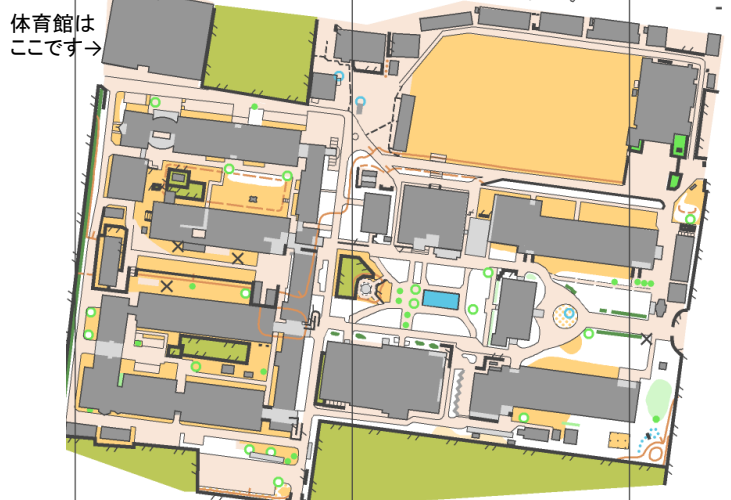
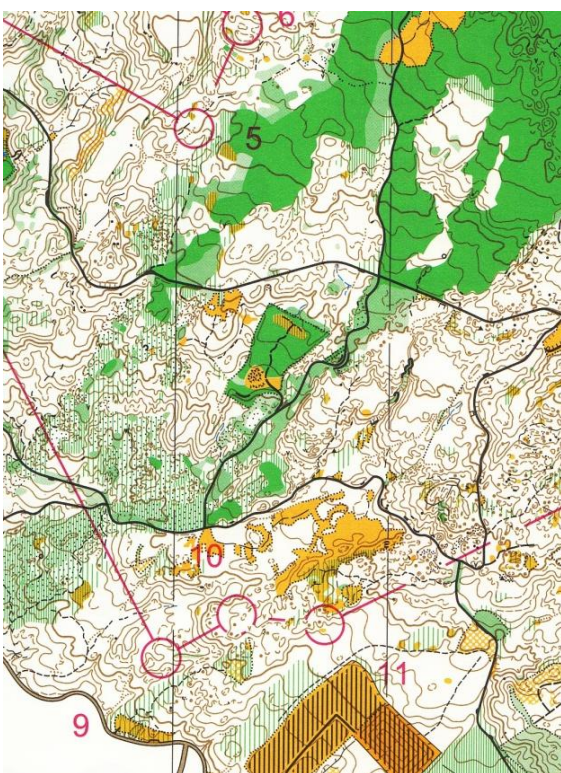
■ナビゲーションとは、未知の場所を含む大規模空間内の移動である。従って、その成否には記憶（認知地図）はもちろん、それ以外の情報（地図等）が利用され、複雑な認知過程が背後にあると考えられる。

■本ワークショップでは、自然の中でナビゲーションスキルを競う競技であるオリエンテーリング競技者のナビゲーションのプロセスについての研究を紹介し、優れたナビゲーションスキルの背後にある知識や認知過程を検討する。

■オリエンテーリングは一般的なイメージとは異なり、秒単位の時間を競うスポーツであるため、素早く確実な判断・動作が要求される。そのため、意識化された認知過程だけでなく、身体的なスキルも重要な役割を果たす。

■ワークショップのプロローグでは、参加者にこうした点も体験していただく予定である。その後、他のナビゲーション（カーナビゲーションなどの人工物、大自然の中で暮らす民族のナビゲーション）との類似性や違いについて検討するとともに、ナビゲーションに関する研究が、人間の日常的な認知過程の研究にどのような示唆を与えるかを考察する。

奈良女子大学キャンパスのオリエンテーリング用マップ  
ナビゲーションに必要な情報に特化されて作成されています ↓



← 村越氏も作成に関わった、静岡で開催されたオリエンテーリング・ワールドカップの地図  
精密に調査された、富士山麓の溶岩地形です